

- 問1 日本銀行は、私たち個人や一般の企業とは直接取引を行わず、民間の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行います。このような中央銀行としての役割を何と呼びますか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 銀行の銀行                      2. 発券銀行                      3. 政府の銀行                      4. 国民の銀行
- 
- 問2 外国為替市場において、1ドル=100円だった為替レートが1ドル=140円になるような、他国の通貨に対して日本円の価値が相対的に下がる現象を何と呼びますか。また、その際、海外から輸入される牛肉などの輸入価格はどうか変化しますか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
1. 円安となり、輸入価格が上昇する      2. 円安となり、輸入価格が下落する      3. 円高となり、輸入価格が上昇する      4. 円高となり、輸入価格が下落する
- 
- 問3 景気が過熱し、物価が上がり続けるインフレーションの懸念があるとき、日本銀行は景気を落ち着かせるための金融政策を行います。この際、日本銀行が実施する「売りオペレーション」の内容と、それによって期待される市場の変化として正しいものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を増やすことで、景気を刺激する。      2. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。      3. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を増やすことで、消費を活性化させる。      4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を減らすことで、物価の下落を防ぐ。
- 
- 問4 日本の中央銀行が担う「政府の銀行」としての役割について説明した文章として、正しいものはどれか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 日本国内で流通する全ての硬貨と紙幣を製造し、政府に納入する      2. 政府が倒産の危機に陥った際に、無制限に資金を提供して救済する      3. 政府が決めた税率や予算案が適切かどうかを審査し、承認を与える      4. 国税の受け入れや、国が公共事業などの支払いに使う資金の管理を行う
- 
- 問5 家計などの余剰資金を銀行が預かり、それを企業などの資金不足の主体に貸し出す「間接金融」の仕組みにおいて、銀行が預金利率を貸し出し利率よりも低く設定している理由として、最もふさわしい背景はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 預金者が銀行に資金を預けること自体が投資であり、元本保証の対価として利子を低く抑える契約が一般的だから。      2. 不景気の際に、企業が資金を借りやすくするために、預金者から徴収した手数料を利子補填に回しているため。      3. 日本銀行による金融政策により、すべての銀行の預金利率を貸し出し利率より下げることが法律で強制されているため。      4. 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。
- 
- 問6 日本銀行が「買いオペレーション」を実施した際、市場におけるお金の流れや経済への影響はどのように変化すると考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取ることで、銀行の資金に余裕ができ、企業への貸し出しが増えて景気が刺激される。      2. 日本銀行が政府から直接国債を買い取ることで、公共事業の予算が増え、雇用が直接的に創出される。      3. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取ることで、市場の通貨量が減少するため、通貨の価値が上がり円高が進む。      4. 日本銀行が市中銀行へ国債を売り出すことで、市場の通貨量が減少し、物価の上昇を抑える効果が生まれる。
- 
- 問7 日本銀行が紙幣（日本銀行券）を独占的に発行する役割を、何と呼びますか。最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 発券銀行                      2. 市中銀行                      3. 政府の銀行                      4. 銀行の銀行
- 
- 問8 日本銀行が「発券銀行」として日本銀行券（紙幣）の供給量を調節し、金融政策を行うことで達成しようとしている、経済上の最も重要な目的は何ですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること      2. 政府の財政赤字を埋めるために、無制限に貨幣を増刷すること      3. 全ての国民に対して均等に現金を配分し、所得格差を是正すること      4. 外国との貿易を制限し、国内市場の独占を維持すること
- 
- 問9 資金の流れを示した資料において、家計が「証券市場」を窓口として企業から「株式」や「社債」を受け取り、その対価として資金を企業に提供する仕組みが示されている場合、この仕組みに関連する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. この仕組みは、企業が銀行からお金を借りる際の金利を決定するための制度である。      2. この仕組みにおいて、企業が家計に支払うものは預金利息と呼ばれる。      3. この仕組みでは、投資家は配当金の受け取りや価格上昇による利益を期待して資金を提供する。      4. この仕組みでは、家計が預けた資金の返済について銀行が全責任を負う。
- 
- 問10 貨幣には、手に入れた所得をすぐには使わず、将来に備えて貯蓄することを可能にする役割があります。この役割を何と呼びますか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 価値の尺度                      2. 交換の手段                      3. 価値の保存                      4. 支払の猶予
- 
- 問11 日本銀行が実施する「金融政策」について、不況時に景気を下支えするために行われる具体的な仕組みとして、適切なものはどれですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
1. 日本銀行が国債を買い入れ、市場の資金量を増やして金利を低下させる。      2. 日本銀行が国債を売却し、市場の資金量を減らして物価の上昇を抑える。      3. 政府が減税を実施することで、家計が自由に使えるお金を増やして消費を促す。      4. 政府が所得税の累進課税を強化することで、所得の再分配を促進する。
- 
- 問12 好景気が続き、物価が急激に上昇する懸念がある際に日本銀行が行う「売りオペレーション」が、景気を抑制する仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 日本銀行が国債を買い取ることで、銀行の資金調達に困難になり、利子が増えることで家計の貯蓄が促進される。      2. 日本銀行が国債を売ることで、市中銀行の資金が増えて金利が下がり、企業がより多くの設備投資を行えるようになる。      3. 日本銀行が国債を買い取ることで、市場に大量の現金が供給され、通貨の価値が上がることで物価の安定が図られる。      4. 日本銀行が国債を売ることで、市中銀行の資金が減って企業などへの貸し出しが抑えられ、消費や投資の行き過ぎが改善される。
- 
- 問13 昭和時代初期の歴史において、多くの銀行で預金の払い戻しができなくなり、経済が混乱した「金融恐慌」が発生しました。こうした事態において、金融システムの安定を図るために、一般の銀行に対して資金を供給し、連鎖的な倒産を防ぐ役割を担う機関を選びなさい。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 財務省                      2. 公正取引委員会                      3. 日本政策金融公庫                      4. 日本銀行